

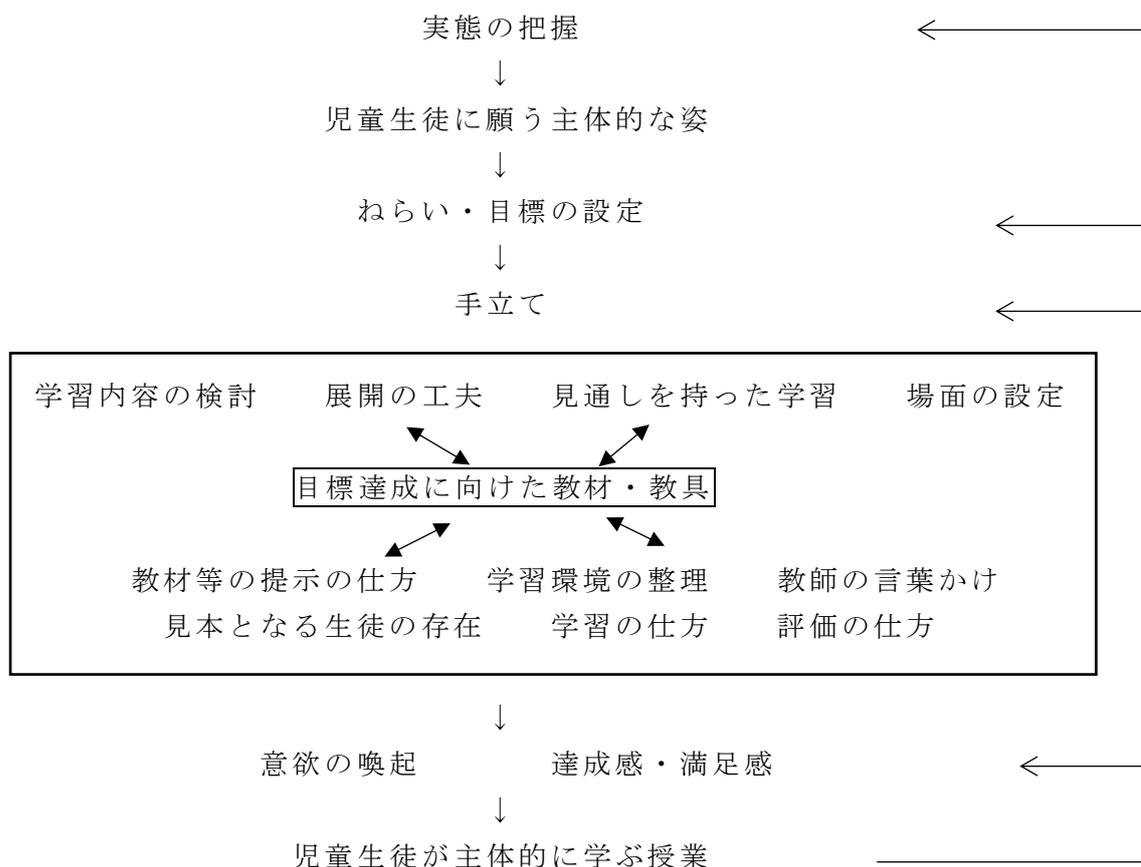
平成29年度 校内研究

研修部 校内研究係

1 校内研究テーマ

「児童生徒が主体的に学ぶことができる授業づくり～教材・教具の工夫～」

2 テーマ設定の理由



平成28年度の研究では、児童生徒が主体的に学ぶことができる授業づくりに取り組み、「実態の把握」「学習内容の検討」「教材・教具の工夫」「意欲の喚起」「達成感」など様々な方向からのアプローチによる研究が進められ成果が得られた。28年度の研究の成果を自分の実践に活かすことで、さらに児童生徒が主体的に学ぶ授業づくりができると期待される。

平成29年度 教育課程 重点目標
教師間で課題意識や指導の重点を共有し、児童生徒一人一人が主体的に学ぶことができる授業づくりと評価、改善に努める。

平成29年度は、28年度の研究の課題として多く上がり、教員のニーズが高かった「教材・教具の工夫」についてをテーマとして研究に取り組みたい。研究を進めるにあたっては平成29年度の重点目標を受け、複数の目で実態の把握をし、児童生徒の課題

や指導について捉え、その上で児童生徒の目標達成に向けて、教材を提示するタイミングや使い方、児童生徒の様子などの評価と改善を行っていく。それらが児童生徒が主体的に学ぶことができる授業につながっていくのではないかと考える。また、これまで使われてきた教材・教具を収集し、学部に関係なく、広く授業に活かせるようにしたい。

3 研究の目的及び内容

児童生徒が主体的に取り組む姿を検討し、それに向けた教材・教具の工夫、実践、改善を通して児童生徒が主体的に学ぶことができる授業作りを行う。

4 研究の方法

I (1) チームでの研究

各自が研究したい領域・教科を選び、課題意識をもとにチームを編成した。

<小学部 8チーム>

日常生活の指導、生活単元学習、国語①②、算数、自立活動①②③

<中学部 4チーム>

日常生活の指導、生活単元学習、作業学習、自立活動

<高等部 7チーム>

日常生活の指導、生活単元学習、算数、体育、作業学習、職業、自立活動

①チームのテーマ、研究の方法、年間計画を話し合う。

②実践（事前協議、授業研究、事後研究など）

③実践の結果をまとめる。

(2) 全体研修会

①各チームの研究内容を共有する。

・紙面 A4・1～2枚

・発表

II 教材・教具、補助具の収集

・これまで使ってきた教材・教具を一人一教材（上限なし）紹介する。

・収集した教材・教具、補助具の中で、活用できるものがあれば、活かしながら研究を進める。

<紹介の仕方>

・プリントにして領域・教科ごとにファイルする。

A4、教材のポイント・使い方、写真

・作成したデータは、領域・教科ごとのフォルダに入れておく。

※収集した教材・教具、補助具については、本校の web サイトで「センターあいづ」から紹介する。

5 年間計画

月	校内研究の主な予定	* は全体で実施する。
4	○ 全校研修日① (26日)・校内研究実施計画の提案	
5	○ 全校研修日② (24日)・チーム編成 ・チームの研究計画立案	
6	○ 全校研修日③ (21日)・各チームの計画により実施	↓
7	※チームの研修している教材・教具の紹介をする。	
8	○ 全校研修日④ (30日)・今後の研修計画の確認を全体で行った後、チームごとに研修	
9	○ 全校研修日⑤ (20日)	
10	○ 全校研修日⑥ (25日)	
11	○ 全校研修日⑦ (22日)	
12	● 授業研究会 (6日) ※各チームの研究のまとめ提出	
	○ 全校研修日⑧ (22日)・各チームの実践発表 教材・教具の紹介	
1	○ 全校研修日⑨ (24日)・各チームの実践発表 教材・教具の紹介	
2	○ 全校研修日⑩ (21日)・校内研究のまとめと次年度の課題 次年度の校内研究の提案	
3	・次年度計画立案・検討	

※ 平成29年度校内研究のまとめは、年度末に会津支援学校 web サイトに掲載する。